



正しいことをする
行動規範 ZEISSグループ

zeiss.com/compliance



Seeing beyond

”

「何をするか」だけでなく、「どのようにするか」も、私たち一人ひとりにとって、そして私たちの会社の評判にとって非常に重要です。私たちは正しいことをします！

#チームZEISS



目次

4 序文

6 ZEISS Code of Conduct (行動規範) について



01

正しい行動： 私たちの原則

- 10 公正な行動
- 12 環境と気候の保護、エネルギー効率、持続可能性
- 13 製品の安全性と品質



02

ビジネス活動における正しい行動

- 16 競争法および独占禁止法
- 18 利益相反の回避、二次的活動
- 19 汚職との闘い
- 20 輸出管理および関税規制の遵守
- 21 正しい簿記と会計、マネーロンダリング防止



03

情報の正しい扱い方

- 24 データプライバシー
- 26 企業秘密の保護、情報セキュリティ
- 27 インサイダー取引の禁止



04

職場での正しい振る舞い

- 30 労働安全衛生
- 32 会社財産の取り扱い



05

疑問が生じた場合の正しい行動

- 35 コンプライアンス違反の報告
- 36 内部コンタクトポイント
- 38 監督者の特別な責任

”

行動規範を体得し、実践します。
私たちは良い手本を示します!

ZEISSグループ経営委員会



Andreas Pecher

Dr. Markus Weber

Stefan Müller

Dr. Karl Lamprecht

Susan-Stefanie Breitkopf

Sven Hermann

Dr. Jochen Peter

従業員の皆さん、 ビジネスパートナーの皆様、

毎日、正しいことを すると決断してくれた ことに感謝します。

ZEISSは、技術だけでなく、競争や取引における善良かつ公正な行動の「ルール」を遵守することにおいても、最適なパフォーマンスを提供し、最高の要求に応えることに専念する企業です。経営委員会チームとして、私たちは従業員、お客様、ビジネスパートナーに対し、取引においては誠実さを、協力関係においては礼儀と敬意をもって接する企業文化を非常に重視しています。

持続可能な経済的成功は、法律や社内規則の遵守と表裏一体であるというのが私たちの確固たる信念です。ZEISS行動規範は、私たちにとって「正しいことをする」とはどういうことなのかについて、共通の理解を生み出すものです。この行動規範は、責任ある事業活動を行うための指針です。

ほとんどの場合、私たちZEISSはすでに直感的に正しい判断をしています。しかし時折、「正しい決断」と「誤った決断」を完全に明確に区別できない状況に陥ることがあります。うっかり、あるいは故意に間違った道を歩むと、当社やあなた個人に多大な悪影響を及ぼし、高額な罰金を課されたり、ZEISSの評判に永続的なダメージを与えたりす

る可能性があります。そこで、皆様への重要な呼びかけです：ZEISS行動規範を活用し、疑問があれば、何度でも尋ねるようにしてください！コンプライアンス関連のトピックについて質問がある場合は、上司または当社のコンプライアンス組織に内密に問い合わせることができます。

私たちZEISSの社員は、例外なく常に責任を持って行動し、法律上および業務上の必須要件を遵守しなければなりません。

経営委員会チームとして、日々正しいことをすると決断してくれたことに感謝します。

ZEISSグループ経営委員会

Dr. Karl Lamprecht | Susan-Stefanie Breitkopf
Sven Hermann | Stefan Müller | Andreas Pecher
Dr. Jochen Peter | Dr. Markus Weber

ZEISS Code of Conduct (行動規範) について

**ZEISSの全員が
ルールを知り、それ
に従って行動しな
ければならない。**



従業員は行動規範のトピックの実践例をここで見つけることができます。

当社の行動規範は、ZEISSの全社員および管理監督者に適用されます。管理監督者は、模範となり、当社のコンプライアンス文化を推進するという重要な役割を担っています。

ZEISSの従業員は全員、法律と社内規則を遵守しなければなりません。また、当社のビジネスパートナーに対しても、データ保護、人権および環境の権利、エネルギー効率の高い行動への取り組みなど、適用される法令を遵守するための持続的な努力を奨励しています。

行動規範は、当社の事業活動に適用されるすべての法的規制に明示的に言及するものではありません。その代わりに、ZEISSの持続的な成功に不可欠な主題を明確に取り上げています。したがって、全従業員は、この行動規範に明示的に記載されていない場合でも、法律および社内規則を遵守することが求められます。

この行動規範は、Responsible Business Alliance (RBA) の行動規範の要件に完全に準拠しています。さらに、ZEISSは「ビジネスにおける人権に関する国連指導原則」と「国際人権法案」に定められた権利を支持しています。国際労働機関 (ILO) の中核的労働基準も、ZEISSにとって特に重要です。

疑問があれば助言を求め、コンプライアンス違反の可能性を指摘すること

法律や社内規定は複雑で、変更される可能性があります。国によって異なることがよくあります。そのため、ZEISSのコンプライアンス組織では、包括的なアドバイスや情報を提供する窓口のグローバルネットワークを提供しています。すべての従業員は、法律や社内規則に違反する行為を報告するよう求められています。これは、ZEISSのための活動に関連してビジネスパートナーが違反行為を行った場合にも適用されます。

行動規範に従わない場合の結果

行動規範は私たちの行動の基本であり、譲れないものです。法律や社内規定に違反した場合、会社にとって大きな損害(罰金や評判の失墜など)につながり、影響を受ける従業員にとっては刑法上や労働法上の責任が生じる可能性があります。



正しいことを する

私たちは一人で行動しているわけではないので、いつでも助言を求めることができます。

私たちは公正に、敬意を持って、透明性を持って行動します。

私たちは法を守り、例外なく行動規範を遵守します。

私たちは正しいことをするためにお互いをサポートし合います。

私たちは不祥事を率直に取り上げ、違反は直ちに報告します。

私たちにとって、正しいことをするという事は、ZEISSの全従業員が、適用される法律や社内規則に従って行動する責任を負うということです。

正しい行動： 私たちの原則

各章の内容

- » 公正な行動
- » 環境と気候の保護、エネルギー効率、持続可能性
- » 製品の安全性と品質

私は#teamZEISSの一員であることを誇りに思っています。その理由はたくさんありますが、特に重要なのは、お互いを尊重し、公平に接していることです。同僚だけでなく、顧客、サプライヤー、その他のビジネスパートナーに対しても、偏見を持たず、礼儀正しく、感謝の気持ちをもって接することが、私たちの企業文化の要でなければなりません。

Lazgin Sis

Representative for persons with disabilities,
Carl Zeiss AG (Oberkochen, Germany)



公正な行動

私たちは公正な労働条件を推進し、従業員やビジネスパートナーから信頼され尊敬される行動を期待します

従業員とビジネスパートナー（顧客、販売パートナー、サプライヤー）は、私たちの活動の中心です。それぞれの関係は、相互の感謝と信頼によって特徴づけられます。

私たちは、取引において礼儀、敬意、公正さだけでなく、行動においてもお互いに正直さを求めます。

私たちは公正な労働条件を提供し、従業員保護に関する法的規定、労働協約または企業協約、契約上の規定（報酬、労働時間、雇用の自由選択、結社の自由など）を遵守します。

人権を尊重します

私たちは、いかなる形態の児童労働や強制労働、奴隷労働、人身売買も拒否し、適切な生活最低賃金を支持します。職場における人道的待遇は、ZEISSの基本原則です。

感謝する企業文化を創造します

私たちは、民族的・社会的出自、国籍、肌の色、性別・性自認、性的指向、配偶者の有無、年齢、宗教、世界観、政治的団体・社会的団体・労働組合への所属、その他法律で保護されている特性に基づく、あらゆる種類の差別を禁止しています。また、ハラスメントやいじめに該当するいかなる行為も容認しません。

私たちがあなたに期待している ZEISSの志： こと：

- » 互いに接する際には、礼儀正しく、敬意を払い、公正な態度で行動すること。
- » 私たちは、社内およびビジネスパートナー間の公正な労働条件と人権を擁護します。
- » いかなる理由であれ、誰に対しても差別をしないこと。
- » 私たちは人権を尊重し、奴隷制、その他の抑圧、強制労働、人身売買を行わず、それに加担しません。
- » 可能であれば、自分の行動の影響に気づいていないかもしれない人々と直接話すこと。
- » 文化の違いを尊重すること。
- » 透明で分かりやすい意思決定を行い、伝えること。

詳細情報

» [人権の尊重と促進に関するZEISSグループ方針声明](#)



環境と気候の保護、エネルギー効率、持続可能性

私たちは環境と気候の保護、そして資源の経済的利用に取り組んでいます

高い環境基準の遵守は、カールツァイス財団の規約においてすでに企業目標として掲げられています。資源（エネルギーと水を含む）の慎重な使用、環境パフォーマンスの継続的な改善、エネルギー効率の継続的な改善は、私たちの事業活動の中心的な要素です。

私たちにとって何が重要で、それをどのように実行するのか？

事業活動において、私たちはCO₂ニュートラル（Scope1と2の排出量*）を目指しています。私たちのアプローチは、回避、削減、オフセットです。

環境への配慮、資源の経済的な利用、規制されたリサイクルと廃棄は、当社の企業理念の重要な要素であり、この主張は当社の事業活動や製品にも当てはまります。

これらの原則は、開発、生産、包装、出荷、顧客による使用、リサイクル、廃棄など、製品のライフサイクル全体を通じて重要な役割を果たします。加えて、建築施設や製品を計画する際には、環境問題、エネルギー効率、水の消費量も考慮しています。経済的実現可能性を考慮した資源利用の最大効率と、適用される関連法規の遵守は、当社にとって重要です。

ZEISSは、環境やZEISSの評判に悪影響を及ぼすことを避け、最小限に抑えたいと考えています。

詳細情報

» [環境保護に関する会社方針](#)

» [エネルギーに関する会社の方針](#)

* スコープ1排出量：化石燃料（ガス、暖房用オイルなど）の直接燃焼によるCO₂排出量。スコープ2排出量：化石燃料（ガス、暖房油、石炭など）の直接燃焼から再生される間接的なエネルギー購入（電気、地域暖房など）によるCO₂排出量。

私たちがあなたに期待していること：

- » 資源（水、材料、電気など）を経済的かつ注意深く使用すること。
- » 規則に従い、環境に配慮した方法で廃棄物をリサイクルし、処分すること。費用対効果を維持しながら、作業エリアに関連した環境保護およびエネルギー効率対策を実施すること。
- » 潜在的な環境リスクを社内の担当者に報告し、環境破壊を防止すること。
- » 環境被害が発生した場合は、直ちに社内の担当者に連絡すること。
- » 環境保護とエネルギー効率が選定・評価基準の一部であることをサプライヤーに伝えること。

ZEISSの志：

- » 私たちは持続可能な製品とバリューチェーンを創造します。
- » 技術的に可能な限り、閉鎖的な水循環を導入します。
- » 水域への環境影響を最小限に抑えます。
- » 私たちは、再生可能な資源からのエネルギー調達と、エネルギー効率の高い機器、製品、サービスの使用を支持します。
- » 私たちは環境およびエネルギー管理システムを運用し、それを発展させ続けます。
- » 私たちは、定義された環境およびエネルギー目標を達成するために必要な資源とデータを確保します。
- » 私たちは環境、気候、エネルギー、持続可能性に関する関連法規を遵守します。

製品の安全性と品質

私たちは、製品の安全性、品質、最適な性能に全力を尽くしています

私たちの製品、ソリューション、サービスは、その使用目的に従って、効果的で信頼性が高く、正確で最適な結果をもたらすために、安全であり、要求される品質と性能を満たしていなければなりません。

革新性、信頼性、使いやすさを通じてお客様やビジネスパートナーの成功をサポートし、持続可能なビジネス関係とソリューションを促進します。製品の安全性は、開発の初期段階から始まり、調達や生産プロセスに付随し、顧客サイトでの製品の設置やサービス中にも不可欠な要素です。

当社製品の開発、製造、認可、販売に関する多くの法的要件は、製品の安全性を確保するためのものです。ZEISSの製品は、いかなる状況においても消費者やユーザーの安全と健康を脅かすものであってはならず、適用される規制要件と品質仕様に準拠していなければなりません。

私たちは、品質マネジメントシステムの要求事項を遵守し、その有効性を維持することを約束します。そうすることで、会社（例えば評判）だけでなく、より重要なことには、患者、消費者、その他の人々に害を与える可能性のある不良品を回避することができるのです。

私たちがあなたに期待していること:

- » 自分の職務に関連する規則に従うこと。
- » 当社の製品、ソリューション、サービスが最適なパフォーマンスを発揮し、最高水準を満たすよう支援すること。

ZEISSの志:

- » 適用される規格、規制、顧客要件を遵守し、社内仕様に確実に反映させます。
- » 私たちは業務に特化した品質マネジメントシステムを導入し、それを維持し、可能な限り継続的に改善します。
- » 関連する品質目標を定め、定期的に見直します。
- » 私たちは顧客や利害関係者に情報を提供し、製品がもたらす危険性を認識した場合には(市場の観察、製品の安全性に関する規制当局の報告書の検討などを通じて)是正措置を講じます。

詳細情報

» [会社経営マニュアル](#)

各章の内容

- » 競争法および独占禁止法
- » 利益相反の回避、二次的活動
- » 汚職との闘い
- » 輸出管理および関税規制の遵守
- » 正しい簿記と会計、マネーロンダリング防止

ビジネス活動における正しい行動

私のチームと私は透明性を確保しています。私たちは常に、製品の価格、性能、品質などについて、お客様やビジネスパートナーに率直かつ正直にお伝えしています。正しく宣伝することで、ZEISSは今後も信頼できるビジネスパートナーであり続けるでしょう。

**Adela Chen**

Marketing Communication Supervisor,
Carl Zeiss (Shanghai) Co., Ltd; China



競争法および独占禁止法

私たちは公正な競争の原則とルールを尊重し、反競争的な行為を容認しません

自由市場経済に不可欠な要素は、公正な競争を保護するための規制である。そのために、世界には以下のような行為を禁止する明確な法律が存在します。：

- » 価格、地域配分、製品数量、その他競争に関連するパラメータに関する競合他社間の談合および情報交換。
- » 販売パートナーによる価格操作
- » 優越的地位の濫用

協調的な行動のように見えることは避けます

ここで挙げられている禁止行為の例には、非公式な話し合い、非公式な合意、協調行為などが含まれ、これらはすべて競争を制限する手段です。

合法的なマーケティングを行います

不公正なマーケティング活動によって競争上の優位性を得ることは禁止されています。製品やサービスに関する宣伝文句は、真実で正確であり、誤解を招くものであってはなりません。

私たちがあなたに期待していること：

- » 競争を決定する要素（価格、条件、生産量、販売地域、顧客割り当てなど）について、競合他社との談合や情報交換を行わないこと。
- » 不利益を示して脅したり、利益を約束したりして、販売代理店の価格設定やその他の販売条件に影響を与えようとするしないこと。
- » 入札プロセスを妨害しないこと。例えば、競合他社と入札を合わせたり、入札参加者に非公開情報の提供を求めたりしないこと。
- » 支配的な立場を悪用しないこと（例：納品のボイコット）。
- » 真実でない、または誤解を招くような宣伝を行わないこと。

詳細情報

- » [コンプライアンスに関する会社の方針](#)



利益相反の回避、二次的活動

私たちは客観的な基準にのみ基づいて決断を下し、個人的な利害に左右されることはありません

日常業務において、個人的な利益や私的な関係がZEISSの利益と相反する状況が生じることがあります。例えば、従業員自身の起業(副業)活動や、状況によっては家族や友人の活動から、利害の対立が生じることがあります。

そのような利益相反は透明化し、関連する決定は上司や同僚に任せます。

私たちは、起こりうるコンフリクトや二次的活動について、オープンで透明性のあるコミュニケーションを行います

ZEISSは通常、従業員の政治的または社会的コミットメントを支援します。ただし、社団、政党、その他の社会的、政治的、社会的組織における活動は、職務権限者としてであれ、名誉職であれ、雇用契約に基づく義務の遂行と両立するものでなければなりません。

追加的な(起業家的)副業活動、名誉職、または類似の活動については、上司または人事部に報告しなければなりません。それらについて承認を得る必要がある場合もあります。

私たちがあなたに期待していること:

- » 利益相反の可能性がある場合、または実際に利益相反がある場合は、上司または人事部に報告すること。
- » 利害が対立する可能性のある決定については、上司や同僚と共有すること。
- » 利害の対立により、あなた自身が行うことができない活動を、関係者(家族、パートナー、友人など)に行わせないこと。
- » 社外での仕事(他社での勤務、起業活動など)を始める前に上司に報告し、人事部の承認を得ること。
- » 名誉職(審査員、地方議会議員、運動指導員など)を引き受ける前に、上司に報告すること。

詳細情報

» [コンプライアンスに関する会社の方針](#)

汚職との闘い

私たちは、従業員や ビジネスパートナー による腐敗行為 を容認しません

私たちは公正な競争の枠組の中で成功するよう努めます。私たちは、そうすることで、価格、パフォーマンス、製品およびサービスの品質を通じて顧客を納得させるのです。ビジネスパートナーの汚職行為による影響を受けてはなりません。このような行為は競争を阻害するため、禁止されています。

腐敗行為とは、業務上の意思決定権限を、自己の私的利益のため、または第三者の利益のために濫用することを意味します。例えば、契約締結の見返りとして、第三者に対して個人的利益や便益を要求、受領、提供、供与することなどが含まれます。

このような便宜を与えた者、またはその見込みを示した者、および便宜を要求した者、または便宜を受けた者は、いずれも起訴される可能性があります。このような利益とは、金銭的支払い（寄付など）、非現金的利益（引換券、招待券、許容されない割引など）、現物の贈与などのあらゆる種類の利益があり、サービスや便宜（娘のためのインターンシップなど）も含まれます。

すべての招待や贈答の授受が汚職となるわけではありません。違法な便宜供与を目的としない「社会通念上の便宜供与」（例えば、契約締結に関連したもの）は許されるかもしれませんが、不適切な影響力がすぐに生じる可能性があります。したがって、特に公務員（当局の代表者や国家機関の職員など）や医療部門の職員（医師や薬剤師など）の場合、招待や贈答を受けたり与えたりする際には、一般的な自制が求められます。多くの国では、これらの人々への招待や贈答は完全に禁止されています。したがって、このような場合、いかなる種類の利益も認められません。ただし、例外として、事前に社内で承認されている場合に限り、製品プレゼンテーションや研修イベントに関連した合理的なもてなしは認められる場合もあります。

賄賂は渡さないし、受け取りません

招待状や贈り物に関しては、私たちは常に最大限の自制心を持って行動します

詳細情報
コンプライアンスに関する会社の方針

私たちがあなたに期待していること:

- » 私的な利益を受けるかどうかでビジネス上の意思決定をしないこと。
- » 取引先の意思決定者に個人的な利益を与えたり約束したりすることにより、ZEISSに有利なビジネス上の意思決定に影響を与えようとしないこと。
- » 贈収賄の企てを拒否し、上司またはコンプライアンス・オフィサーに直ちに報告すること。
- » 招待状や贈り物には細心の注意を払うこと。**50ユーロ**（または現地通貨での相当額）を、個々のケースにおける目安の金額とすること。
- » 文化的な理由で拒否できない例外的な場合にのみ、より高額な招待状や贈答品を受け取れ得るが、これを社内で透明化し、社交目的や社内抽選会などに利用できるようにすること。
- » 正当な例外的ケースに限り、現地の法律で許容されることを確認した上で、より高額な招待状や贈答品を贈ること。
- » 原則として、公務員や医療部門の従業員への招待や贈答は行わないこと。

輸出管理および関税規制の遵守

当社は、適用されるすべての輸出管理および通関規制を遵守します

ZEISSは世界的に活動する会社であり、その世界的な事業活動において、物品の自由な移動を制限するいかなる規制にも従わなければなりません。

国内外のさまざまな法律や禁輸措置により、特定の商品、技術、サービスの輸出入や国内取引、資本取引や決済取引が制限または禁止されています。

制限や禁止事項は、商品の性質、原産国、使用国、またはビジネスパートナー自身によるものである可能性があります。

ZEISSのすべての会社とその従業員は、輸出入取引に関連する関税規制を遵守しなければなりません。

私たちがあなたに期待していること:

輸出管理の担当者に以下を確認してもらうこと:

- » 制限や禁止事項が存在する (商品やサービスの売買、仲介、マーケティング、技術移転など)。
- » それぞれの行為を行う前に、正式な承認を得なければならない
- » 輸出入取引においては、関税規制を遵守しなければならない。

ZEISSの志:

- » 当社は、輸出管理および関税規制の遵守を確保するための管理および監視プロセスに関する方針および規則を定めています。
- » 私たちは、必要なチェックを行う訓練を受けた専門家を任命し、法令遵守に疑義がある場合には、いかなる活動も停止する権利を有しています。
- » ITによるスクリーニング(制裁対象者、制限貨物、禁輸制限、最終用途)を実施します。

詳細情報

» [輸出管理に関する会社方針](#)

正しい簿記と会計、マネーロンダリング防止

私たちは、金融取引を完全かつ正確に記録し、信頼できるビジネスパートナーとのみ取引を行います

すべての商取引は、会計記録、貸借対照表、税務申告書に適切に反映されなければなりません。そのためには、関連するすべての事実が正確かつ完全に記録され、追跡可能な方法で文書化され、保管される必要があります。

いかなる侵害行為も、会計操作、文書犯罪、詐欺容疑、税務違反、マネーロンダリング容疑などの調査の対象となるリスクを伴います。

マネーロンダリングやテロ資金供与を目的とする行為を容認しません

マネーロンダリングやその他の違法な目的に悪用されないこと、およびそれに加担しないことが、ZEISSの宣言された目的です。

マネーロンダリングとは、違法に入手された資金（テロ、麻薬取引、贈収賄、その他の犯罪行為によるものなど）の出所を、合法的な経済循環の中に密輸することで隠し、合法であるかのように見せかけることを意味します。

私たちがあなたに期待していること:

- » 税務・会計規則を遵守すること。
- » 標準的なプロセス以外の取引を行わないこと。
- » 商取引に関するすべての文書を慎重かつ整然と保管すること。
- » 法的保管要件を遵守すること。
- » 政府の調査や訴訟に関連する文書を改ざんしたり、破棄したりしないこと。
- » マネーロンダリングやテロ資金供与の兆候があれば直ちに取引を停止し、疑わしい事案があれば関連する部署に報告すること。

詳細情報

» [財務および管理に関する会社の方針](#)

情報の正しい扱い方

各章の内容

- » データプライバシー
- » 企業秘密の保護、情報セキュリティ
- » インサイダー取引の禁止

私の仕事では、個人情報の機密扱いとITセキュリティ基準の遵守が不可欠です。データ・プライバシー・コーディネーターとの緊密な連携と定期的なトレーニングは、同僚と私が満たさなければならない要件を実行するのに役立っています。

Monica Jernigan

Service Delivery Specialist,
Carl Zeiss, Inc. (Dublin, USA)



データプライバシー

当社は、適用される法律の枠内でのみ個人データを処理し、不正アクセスからデータを保護します

電子データ処理が広範囲になればなるほど、お客様、ビジネスパートナー、従業員の個人データの保護がより重要になります。このような個人データは、適用される法律の枠内でのみ開示および処理されません。データ・プライバシーの枠組みは、国際法および国内法によって規定されています。

コーポレート・データ・プロテクション・オフィサーとグローバル・データ・プライバシー・チームが運営するグループ全体のデータ・プライバシー管理システムは、これらのデータ・プライバシー要件を満たし、データの不適切な保護による潜在的な悪影響を回避するためのサポートを提供します。

現地で適用される法律では、どの種類のデータが機微(センシティブ)データとみなされ、それに応じて特別に保護されなければならないかを定めています。

個人データとは何か？

個人データとは、直接または間接的に個人を特定できるすべてのデータを指します(氏名、住所、年齢、性別のほか、IPアドレスや銀行口座などの間接的なデータも含まれます)。

私たちがあなたに期待していること:

- » 個人データをどの程度取り扱っているかを把握すること。
- » 個人データを不正アクセスから保護する(例えば、第三者との電子通信において必要なセキュリティ基準を維持する)こと。
- » 業務を遂行するために必要な場合、および法律で認められている場合に限り、個人データを収集すること。
- » 個人データを含む記録は、管理された安全な方法で廃棄すること。
- » ビジネスパートナーに対しても、同様の高いプライバシー基準の維持を求めること。

ZEISSの志:

- » データ保護マネジメントシステムを実施し、継続的に発展させます。

詳細情報

- » [データ・プライバシーに関する会社ポリシー](#)



Computers & smartphones are in safe hands with you.

A single day — much like a week — is full of challenges that you have managed perfectly. Here is a short summary of the most important points we covered.

- Using your personal devices is a smart choice.
- Understanding security risks is key.
- Being an employer is the work.
- Using smartphones and apps is a smart choice.

企業秘密の保護、情報セキュリティ

不正アクセスから機密データを保護します

当社の発明とノウハウは、当社の長期的な成功にとって決定的に重要です。したがって、当社の知的財産およびすべての機密情報は、第三者の知識や不正アクセスから保護されなければなりません。これには、データの盗難、サイバー攻撃、マルウェアからの保護も含まれます。

知的財産には、例えば発明や試作品などが含まれます。しかし、企業秘密、顧客やサプライヤーのデータ、ソフトウェアも適切な保護をしなければなりません。

多要素認証、アンチウィルス・プログラム、定期的なトレーニングなどのさまざまな対策により、潜在的なリスクを低減しています。また、セキュリティレベルを維持し、継続的に向上させるための手順も含まれており、その適切性は独立機関によって定期的に評価され、認定されています。

これらの情報の保護は、グループ全体の情報セキュリティ管理システムの実施を通じて確保されています。

機密情報を開示しない
そのため、従業員は事前の承認なしに、公の場での議論（講演会、インターネット掲示板など）に参加したり、会社に関連する情報を公の場（インターネットなど）で開示したりすることはできません。

私たちがあなたに期待していること:

- » 会社に関する機密情報は非公開に保ち、権限のない個人（家族や友人も含む）と共有しないこと。
- » 私物の電子機器（パソコン、タブレット、スマートフォンなど）に会社のデータを保存しないこと。
- » ファイルや記録を不正アクセスから保護すること（暗号化など）。
- » 私物の電子機器を企業ネットワークに接続しないこと。
- » 情報セキュリティの定めるセキュリティルールを常に遵守すること。第三者から機密情報として開示された情報についても、同様のセキュリティルールを適用すること。
- » ソーシャルメディアを利用する際は、機密情報を共有しないこと。

ZEISSの志:

- » 情報セキュリティマネジメントシステムを実施し、継続的に発展させます。
- » 私たちは、正しい実施を確実にするために、適切な管理プロセスを維持しています。

詳細情報

» [セキュリティに関する会社の方針](#)

インサイダー取引の禁止

ZEISSの業務を通じて入手した上場企業の非公開情報を、自社または第三者のために財務上または事業上の利益を得るために使用することはありません

インサイダー法は、投資家を保護する役割を果たしています。一方では、有価証券の売買に際して、直接的または間接的に個人的な利益を得るためにインサイダー情報を悪用することを禁止しています。他方で、そのような情報を無許可で開示することも禁止されています。

インサイダー情報とは、まだ市場に知られておらず、その開示が当該証券の価格に重大な影響を与える可能性のある情報（例えば、以下のような情報）です。

企業買収計画、2社間の協力に関する戦略的合意、業績、新製品、製品に関する問題、重要な契約。

私たちがあなたに期待していること:

- » 事業活動の過程で入手した上場企業(カールツァイスメディテックAGなど)に関する情報は、その情報が公になるまで、有価証券の売買に使用しないこと。
- » インサイダー情報を第三者に開示しないこと。第三者には、家族、パートナー、友人、またはこの情報を知らない他のZEISS従業員も含まれる。
- » 有価証券に関する内部情報を持っている場合は、第三者に対して有価証券の売買を推奨しないこと。

詳細情報

» [イントラネットによるインサイダー取引の禁止](#)

各章の内容

- » 労働安全衛生
- » 会社財産の取り扱い

職場での正しい振る舞い

組み立ての職場では、私と同僚は保護具を着用する必要があります。私たち自身の健康だけでなく、私たちの工場で加工される製品も守るためです。



Sabine Wanner

Individual equipment assembler,
Carl Zeiss Jena GmbH (Oberkochen,
Germany)



労働安全衛生

私たちは、包括的な労働安全対策や医療ケア、健康増進策の提供を通じて、健康的な労働環境と安全な職場を確保します

職場の安全と全従業員の健康を保護することはZEISSの基本原則であり、カールツァイス財団の規約にも記載されています。

従業員の健康は、ZEISSの成功にとって重要な要素です。

従業員の健康は、ZEISSの成功にとって重要な要素です

会社の成功は、最新技術や高効率の製品だけでなく、何よりもまず、その背後にいる人材にかかっています。従業員の身体的、精神的な健康は、従業員のパフォーマンスやモチベーション、ひいては会社の成功にとって重要な要素です。健康と福祉を促進する安全な職場は、雇用主と従業員にとって等しく重要です。

良好な労働条件を促進するために必要な措置を講じます。

良好な労働条件を促進するために必要な措置を講じます

ZEISSの各事業体は、労働災害を防止し、労働安全衛生のリスクを最小限に抑え、良好な労働環境を促進するために、事業活動に沿った対策を講じ、継続的に発展させなければなりません。

ZEISSの労働衛生管理は、予防および健康増進対策を通じて、従業員の健康を促進し、改善しています。

すべての管理監督者は従業員の保護に責任を負い、従業員に適切な技能、指導、指示を与える必要があります。

私たちがあなたに期待していること:

- » 職場の危険と労働安全衛生の側面に精通すること。
- » 労働安全衛生に関する仕様を遵守し、所定の保護具を使用すること。
- » 提供される予防および健康増進の手段を活用すること。
- » 安全が脅かされるような状況が生じないように、慎重に行動すること。
- » 労働安全衛生の模範となること。
- » 危険な状況、ヒヤリハット、事故を直ちに担当の管理監督者や、必要であればその他の社内連絡担当者に報告し、今後発生しないようにすること。
- » 出張先での健康と安全に関する問題については、出張の十分前から助言を求めること。
- » 労働安全衛生が選定および評価基準の一部であることを関連サプライヤーに伝えること。

ZEISSの志:

- » 私たちは、労働安全衛生マネジメントシステムを実施し、継続的に発展させています。
- » 私たちは、定められた目標を達成するために必要なリソースを確保します。
- » 私たちは、労働安全衛生に関する関連法規を遵守します。

詳細情報

» [労働安全衛生に関する会社方針](#)



会社財産の取り扱い

私たちは会社の財産を大切に扱い、紛失、破損、盗難、不正使用から保護します

すべての従業員は、会社の所有物を注意深く、意図された目的のために扱う義務があります。職場および従業員や会社に役立つすべての設備は、常に整頓および整備されていなければならない、破損があれば直ちに監督者に報告しなければなりません。

会社の財産には、例えば、機械、工具、事務機器、車両、すべての情報通信システムなどが含まれます。

適切な許可を得た場合に限り、会社の所有物を私的に使用します

原則として、会社の所有物は、上司または会社の担当部署から明示的な許可を得た場合を除き、私的に使用したり、第三者に譲渡したり、会社から持ち出したりすることはできません。

会社の資金は控えめに使います

例えば、出張の予約と精算は常に関連する出張規定に従って行い、会社の資金は控えめかつ適切に使用しなければなりません。

私たちがあなたに期待していること:

- » 会社のすべての資産、情報および通信システムを損失、損傷、誤用から保護すること。
- » 会社から提供されたリソースは、慎重かつ適切に使うこと。
- » 会社の所有物を個人的な目的で使用する場合は、上司の承認を得た上で、社内規定に従って使用すること。
- » 会社の所有物を不正な目的(違法なウェブサイトへのアクセスなど)に使用しないこと。
- » 出張の予約や費用精算は適用される出張規定に従って行い、会社の資金は控えめかつ適切に使用すること。
- » 当社の財産に損害を与えようとする第三者に注意すること(窃盗、詐欺、ハッキングなど)。
- » 会社の所有物の破損または紛失を直ちに報告すること。

詳細情報

» [セキュリティに関する会社の方針](#)

各章の内容

- » コンプライアンス違反の報告
- » 内部コンタクトポイント
- » 監督者の特別な責任

疑問が生じた場合 の正しい行動



状況によっては、どの行動が正しいのかを判断することは容易ではありません。このような時でも、あなたは一人ではありません!

上司に連絡し、状況を話してください。また、ZEISSコンプライアンス組織のメンバーも、相談窓口として喜んでお手伝いします!



Klaus Birkle

Chief Compliance Officer,
Carl Zeiss AG (Oberkochen, Germany)

コンプライアンス違反の報告

**疑問があれば関連窓口に助
言を求め、違反の可能性があ
れば遅滞なく報告します**

すべての従業員は、自分自身の行為に疑問がある場合、または法的に疑わしい手続きや処理に関する情報を入手した場合、上司、人事部門、その他の関連部署、またはコンプライアンス組織に連絡することが期待されています。

従業員が法律違反や社内規則違反の可能性を上記の窓口で堂々と通報することができない、または通報したくない場合は、内部通報システム「ZEISS Integrity Line」を利用することができます。ZEISS Integrity Lineは匿名での通報も可能で、イントラネットとZEISSのウェブサイトの両方からアクセスできます。

誠実な内部通報
者を保護します

法律および社内規定の不遵守に関して提起されたすべての懸念は、真摯に受け止められ、要求があれば内密に扱われます。内部通報者は、不正行為の疑いが確認されなくても、懲戒処分や制裁を恐れる必要はありません。しかし、他者を傷つけることのみを目的とした意図的な虚偽の通報は許されません。

詳細情報
コンプライアンス・
イントラネット

私たちは、証明されたコンプライアンス違反に対しては、比例原則に従い、一貫した措置で対応します。個々のケースについて、どのような結果が適切で、必要で、適切であるかを検討します。

内部コンタクトポイント

コンプライアンスに関するご質問はございませんか？ 以下の連絡先（コンタクトポイント）までお気軽にお問い合わせください：



上司に相談する。



人事部または担当部門
に相談する。



ZEISSコンプライアンス組
織にご相談ください：

コンプライアンス・オフィ
サーまたはコーポレート・
コンプライアンス
([compliance@zeiss.
com](mailto:compliance@zeiss.com))

**コンプライアンス違反が発生し
たと思われる場合は、以下の方
法で報告することもできます：**



ZEISS Integrity Line

内部通報システムである「[ZEISS Integrity Line](#)」は24時間利用可能です。通報は保護されたエリアで行うことができ、匿名で提出することもできます。
[内部通報制度に関するFAQ](#)



Compliance@zeiss.com

ZEISSコーポレートコンプライアンスチームに電子メールを送ってください。

Compliance Officer

[ZEISSの従業員は](#)、担当のコンプライアンス・オフィサーのリストをこちらでご覧いただけます。



監督者の特別な責任

上司には、コンプライアンスの重要性を社内に浸透させ、従業員の模範となることを期待しています

各従業員には、正しいことをし、規則を守る責任があります。経営陣と管理監督者には特別な責任があります。リーダーとしての役割と、それに付随するロールモデルとしての機能によって、企業文化とコンプライアンス文化を形成します。

私たちは、管理監督者のロールモデル機能がコンプライアンス文化の鍵であると考えています

上司は、この行動規範に定められた原則、遵守すべき法律および社内方針が従業員に周知され、理解され、遵守されるようにしなければなりません。透明性のあるコミュニケーションを特徴とし、正直かつ建設的な批判が歓迎される、信頼の文化が築かれなければなりません。個人の不正行為は阻止され、必要であれば処罰されなければなりません。

私たちが上司に期待すること:

- » 従業員の模範となり、コンプライアンスの重要性を定期的に従業員に伝えること。
- » あなたとあなたのチームや部署の従業員が行動規範の要件を知り、理解し、遵守するようにすること。
- » 従業員が必要な指示を受け、コンプライアンス・トレーニングを修了していることを確認すること。
- » この行動規範に沿った目標を、自分自身と従業員に設定すること。
- » 法律や社内規定に違反した場合、是正措置の実施や懲戒処分の検討を開始すること。
- » 従業員の窓口となり、不祥事の兆候をフォローするなど、従業員を支援すること。
- » 潜在的なコンプライアンス違反に対処することを従業員に奨励すること。

詳細情報

- » [リーダーシップの原則](#)
- » [ZEISSコア・コンピテンシー・モデル](#)
- » [ZEISSのフレームワークとコンセプト](#)



ZEISS行動規範を、責任あるコンプライアンスを遵守したビジネス活動のガイドラインとして活用してください。

Dr. Karl Lamprecht

CEO of the ZEISS Group



Carl Zeiss AG
Corporate Compliance Office
73447 Oberkochen
compliance@zeiss.com
www.zeiss.com/compliance